

平成 29 年

第 12 回教育委員会定例会

議 事 録

佐 渡 市 教 育 委 員 会

平成29年 第12回 定例 臨時委員会 議事録			
委員会 日程			会場
開会日時	平成29年8月30日 午前・ 後 2時25分		佐渡市役所 畑野行政サービスセンター 4階 大会議室
閉会日時	平成29年8月30日 午前・ 後 3時12分		
延会日時	平成 年 月 日 午前・後 時 分		
出席者		欠席委員	議事録署名委員
教育長	渡邊 尚人		中村 友子
1番委員	佐藤 辰夫		信田 恵子
2番委員	仲川 正道		
3番委員	中村 友子		
4番委員	信田 恵子		
議案説明のため出席した職員			
学校教育課		社会教育課	
課長	吉田 泉	課長補佐	後藤 康吉
管理主事	山田 裕之		
指導主事	後藤 修治		
課長補佐	伊藤 賢治		
総務係 主任 佐藤 若菜			
傍聴人	有 無	有の場合、別紙のとおり	
報告の要旨	「議事の概要」のとおり		

会議で行った選挙の結果		
なし		
会議に付議した事件の題目		
議案第43号 学校医の委嘱について		
<報告事項> 1 学校の諸問題について 2 その他 <その他> 次回定例会の開催日等		
採決の結果及び可否の数を計算したときは、その数		
なし		
請願、陳情	有 <input checked="" type="radio"/> 無	有の場合、別紙のとおり
その他必要と認めた事項		
特になし		

【議事の概要】

<p>・ 渡邊教育長</p> <p>・ 委員全員</p> <p>・ 渡邊教育長</p> <p>・ 渡邊教育長</p> <p>・ 委員全員</p> <p>・ 渡邊教育長</p> <p>・ 委員全員</p> <p>・ 渡邊教育長</p> <p>・ 渡邊教育長</p> <p>・ 後藤指導主事</p>	<p>◎本定例教育委員会は、午後2時25分から開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ただいまから平成29年第12回佐渡市教育委員会定例会を開催いたします。 ・ 初めに、日程第1、「議事録署名委員の指名について」ですが、本日の署名委員は佐渡市教育委員会会議規則第18条の規定により、中村委員と信田委員の2名を指名いたしますので、よろしく願いいたします。 ・ 日程第2、議案第43号「学校医の委嘱について」を議題といたします。 ・ 議案第43号については、人事に関する内容ですので、佐渡市教育委員会会議規則第7条の規定により、秘密会としたいので、これに賛成の方は挙手をお願いします。 ・ 挙手。 ・ それでは、議案第43号を秘密会といたします。 ・ 【秘密会】 ・ それでは、これより採決いたします。 ・ 本件を原案どおり決することに異議ございませんか。 ・ 異議なし。 ・ 異議なしと認めます。 ・ よって、議案第43号「学校医の委嘱について」は原案どおり可決されました。 ・ 続きまして、日程第3、報告事項1、学校の諸問題についてです。報告事項1につきましては、児童生徒の個人情報にかかわる内容ですので、佐渡市教育委員会会議規則第7条の規定により、秘密会としたいので、これに賛成の方は挙手をお願いします。 ・ 挙手 ・ それでは、報告事項1を秘密会といたします。 ・ 【秘密会】 ・ 次に、報告事項2、その他ですが、事務局の説明を求めます。 ・ それでは、私の方から全国学力学習状況調査の結果について報告をさせていただきます。 ・ まず、資料の1枚目ですが、小学校、中学校のそれぞれの平均正答率、佐渡市の正答率、新潟県、全国との差についての表です。表面が小学校になるわけですが、今年度29年度については国語A問題、算数A問題については全国よりも上回ったという結果です。しかし、国語B、数学B、いわゆる活用問題については全国よりも下回ったというところです。ここ数年そのような傾向が続いておりますので、ここが課題であるということで今後も活用力を高めるための授業改善に取り組んでいこう、また学校に伝えていきたいと思っております。 ・ それから、中学校については、裏面ですが、国語Aについては全国、それから新潟県よりも上回りました。ですが、国語B、それから数学A、Bに
---	--

については全国よりも下回ったという結果です。ただ、昨年度、一昨年度と比べますと全国との差というものがかなり縮まってきておりますので、これまでの各学校の取組の成果がもう出ているというふうに感じております。

- それから、2枚目の資料が正答率の推移ですが、全国と比べてどのように推移しているかというグラフになります。真ん中、黒い線が全国平均をゼロとしますと、ここが上に延びていれば全国より上、下に延びていれば全国より下回っているという結果です。
- それから、3枚目の資料が学校別の正答率、各学校の正答率を一覧表にしたものです。小学校と中学校、それぞれ示してあります。
- それから、最後、4枚目の資料ですが、これは児童生徒、質問肢による全国との比較ということで、学習に対する意識が全国に比べると、このようなプラス面があり、マイナス面があるかということをもとめたものです。
- ここでの中学校に関しては、まずプラス回答は質問番号の38、60番にあるように話し合い活動、そういったところが子どもたちのプラス面の評価としてあります。これについては、これまでも各学校で話し合い活動、学び合いの活動、かかわり合う活動というものを積極的に授業に取り入れていくということで取り組んでおりますので、その成果が出ているのかなというふうに感じております。
- それから、42番、67番のように地域の行事、地域とかかわる機会、こういったところも高い割合になっています。これについては地域学習、それから地域の行事にボランティアとして積極的に参加するとか、そういったところがこのようなプラス面の評価になっているかと思えます。ただ、マイナス面についてはテレビゲーム、それから携帯、スマホ等のゲームの使用時間が全国に比べると高いという実態があります。
- それから、家庭学習についても家庭学習の時間や、内容、予習や復習については全国と比べると、マイナス面の回答があるというところが課題になっているかと思えます。
- 国語については、内容はわかるけども、書くことに対する意識というか、そういうところの苦手意識が課題としてあります。
- 小学校についてですが、小学校も中学校と同じように話し合いについての積極的な評価が多いです。
- 地域の行事、それから地域の人とかかわったりする機会についても中学校同様、プラス面の評価が多かったです。
- 国語に関する関心も高いというところがこの結果から読み取れます。
- マイナスについては、テレビ、ビデオ等の視聴時間が全国に比べるとちょっと多いというところと、あと図書館の利用についてが全国に比べると少ないというところがマイナス面の評価となっております。
- 質疑等ありましたら挙手をお願いします。いかがでしょうか。
- まず最初に、昨年度から教育委員会の方で教育委員会会議の議事録をホームページで公表することを始めた結果、その中でいろいろと私も意見をい

- 渡邊教育長
- 仲川委員

ただくようになりました。

- それから、総合教育会議のホームページも見てもらって、公表もできているということで、特に学力について関心と呼んでいると考えています。
- 最近市民のある方から、たくさんご意見をいただきまして、その中で今回のトピックと関係のないところは省きますが、ちょっと読み上げさせていただきます。教育委員会に伝えてくれということでありましたので、伝えさせていただきます。
- 「総合教育会議の議事録、拝見しております。先生のご理解を得て、総合教育会議等の場でこんな意見もあるよとご紹介くだされば幸いです」と書いてあります。
- この学力の問題について、「平成 28 年度第 2 回総合教育会議の場で、先生は小学生、中学生の学力テストの結果に触れ、基礎学力低下を心配されました。私も全く同感です。」
- 3点書いてあります。「1、中学の数学Bの平均点が100点満点で30点台とは何たることか、平成27年度、28年度。②、小学校の算数Bでも40点台にすぎないではないか。③、「きょういく・さど」では佐渡市の成績を全国平均と比べて評価しているが、私はむしろ新潟県レベルと比べるべきと思う。そうすると小学校、中学校全ての科目において佐渡は劣っていることになる。佐渡の教育全般に構造的な問題があり、市教委は改善対策を考えるべきではないか」というご意見です。
- 私も学力テスト、学習状況調査について非常に興味を持っている人間ですので、似たような意見を持っています。今回こうやって正答率等を学校別に示していただいたのでありがたいと思っています。今回変動のあった学校のノウハウ、特に上位にアップした学校のノウハウを研究して、良い点を佐渡市全体に広げていただきたい。そして、相変わらず低迷している学校がありますけれども、その原因の分析をしっかりとお願いしたい。さらには、今まで上位にいたにもかかわらず、今回大分下降したところがあるようですが、これについても原因の調査をしながら、ぜひこ入れをしていただくとありがたい。成績分布等も含めて対応していただきたいと思います。
- それから、昨年度制定した佐渡市教育基本計画の中に大学や関係機関との連携という項目がありました。それをぜひこの学力向上に関係づけてもらいたい。例えば今年度から政令指定都市の成績が公表されましたけれども、仙台市は非常に優秀な成績をとっています。仙台市では地元の大学、東北大学や宮城教育大学と共同研究しながら、成績アップにつながる方策を探っている。その成果があらわれているのではないかという評価がネットに書いてございました。佐渡市もせっかく大学や関係機関との連携を打ち上げたのであれば、そういう手段もあり得ると私は思っています。抜本的な改善策につながるかもしれませんので、ぜひ検討を始めていただけないか。例えば新潟大学や上越教育大学等との共同研究もあり得ると考えます。検討してください。

- ・ 渡邊教育長
- ・ 仲川委員
- ・ 佐藤委員

- ・ それから、3番目ですけれども、家庭学習の時間についてのでこ入れも昨年度の教育基本計画の中での大事な項目でありました。若干改善はしているようですが、ぜひこれも教育委員会の方で各学校と連絡をとりながら、さらに進めていただきたい。
- ・ よろしくをお願いします。
- ・ 今のは、要望ということでよろしいでしょうか。
- ・ はい。
- ・ 分析、大変ありがとうございました。成果が盛り込まれている点、それからまだ課題が残っている点、よくわかるように明確に記述いただきました。ありがとうございます。特に国語の基礎学力があるということは、非常に他の教科の学力を支えるという意味で国語の力がないと、全ての教科が落ち込むと。表現力にもかかわる部分ですから、いいなと思います。
- ・ それと、結果を見せていただいて、また昨今の新聞記事、報道等を見せていただいて、大きく3つ感じておりました。また、今年も秋田、石川、福井、東北・北陸3県と、非常に優秀な成績を上げておられます。私は、これ以前からも聞いていて、この県は学力も高いけれども、3世代家族が多いのも全国でトップの方かなと、数えられる都道府県だと聞いています。お年寄りがいて、そして3世代家族の中で子どもが育っていく。これは、やはり一つのある人が育っていく理想的なスタイルなんであろうと、こう思います。社会秩序を重視した、いい意味で社会秩序を重視する、そういう家庭の雰囲気、先達を立てていく、教えを請うという、そういったことで、学力にもそれが結びついているのではないかという文言も出てまいります。そういった点で新潟県、そして佐渡も3世代の家族は比較的高いのではないかと。家族、家庭教育、家庭のあり方という点においても社会教育の面を含めて充実させることが教育に、学力の向上にもつながるのかなと、こういうふうに思っておりますし、そう願っているところです。
- ・ それから、2点目ですが、全国との比較という点で、今ほど仲川委員の方からも、また地域の方からのお手紙にもありましたように、やはり全国を基準にするという視点とともに、新潟県の平均正答率をやはり一つの基準にしてもらえたらなと、こういうふうに思います。なぜならば、県教育委員会は平成10年から学力改善の重視ということで、平成10年という、平成に入ってちょうど2回目の学習指導要領改訂のときであります。本腰を入れて学力向上の推進事業を立ち上げていたころだと思いますが、各事業で基礎基本の定着、それから習熟度別指導とか、それから学習意欲向上事業とか、そういったことで次々と仕掛けて、またご指導いただいた、指導主事も配置されたと、こういう時期だったかと思いますが、その成果が今あらわれてきているんだろうと。こういうふうに県の方も、また報道機関も分析しているようであります。
- ・ そういった意味で佐渡市も新潟県にある一つの市として県の指導を得て、また県の指導主事も入り、そして佐渡市の指導主事さん方も頑張ってください

り、現場も頑張ってきたかと思います。その成果を出す。または評価する。また、課題を明確にするという意味で、やはり県のデータというのも重視したいなど。こういうふうに思います。

- また、同時に一つ一つの、一校一校の学校の実態を分析する意味でも正答率の割合分布を各現場でしっかりとっていただいて、それをもとにした分析、改善方途等を模索していただければと、またそういうふうに指導していただきたいなどと思います。

- そして、3つ目であります。積極的な生徒指導をぜひともお願いしたい。学力学力と盛んに言うのですが、積極的な生徒指導の充実というものがそれを支えるものだろうと、こう思っています。決して非行とか反社会的なことを言っているつもりはありません。健全な社会人として子どもたちが育つための生徒指導という意味で、特に長所を伸ばす、短所を少なくするという方向での指導であります。特別活動を充実させてほしいなど、こう思います。

- 2学期に入りました。各中学校、第2週に体育祭が予定されていると思うんですが、3年生はものすごく力を入れて今頑張っていると思います。集団を意識した活動を、そういうふうにトライして夏の期間やってきていると思うんですが、そういったことを大事にして、その成果も大事にして、またそれを授業の方にもつなげてもらいたいなど。主体的対話的な学習の充実ということが、今うたわれていますけれども、特別活動、集団活動なくしてこの学習活動の場は私は成立しないと。ちょっと言い過ぎかもしれませんが、そういうふうに感じています。若干特別活動というものが今余りにも学校現場で、また社会でも言われぬのがちょっと残念ですが、何よりも私はそれが大事だろうと思っていますので、よろしくお願いします。

・ 中村委員

- すみません。小学校、中学校、児童質問肢による全国との比較というところで、中学生の皆さん、小学生の方がプラス回答が多いのに比べて、中学校になるとプラス回答がどんと減ってきています。それがこの回答と、こちらの数字で出てきた平均正答率そのまま少し出てくるのかなと。やっぱり子どもたち自身が学習に対してモチベーションが高ければ高いほど正答率もきっと上がってくると思うので、小学生でこれだけのプラス回答があるので、それをどうやって気持ちを維持していくか、モチベーションを維持していくか、さらに上げていくかというところが変わってくるものだと思います。中学校になると、どうしても主体が部活になりがちになってしまっていて、そこが、実は本来の形ではなくて、方向性みたいところを、将来が決まってくんだというその方向性、学習も大事なんだというところをもうちょっと先生が出してあげると、子どもも部活も頑張りながら勉強もしっかりとやらなければいけないという気持ちの持ち方についてももう少し積極的に先生が問いかけていってほしいと思います。保護者に対してもそうですし、保護者も中学校になると、どうしてもそこに力が入ってしまう。でも実際に、将来を考えたときに、仲間をつくったり、いろんなことに参加すると

<ul style="list-style-type: none"> ・ 渡邊教育長 ・ 委員全員 ・ 渡邊教育長 ・ 委員全員 ・ 渡邊教育長 ・ 吉田学校教育課長 ・ 渡邊教育長 ・ 渡邊教育長 	<p>いうことに大事なこともあるんですけど、でもやっぱり基本的なところ、やるべきことをきちんとやるという意識を持たせてほしいなと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校で学習教室というのが時折開催されます。夏休みとか冬休みとかにやるんですけど、実際にその内容についても把握をしていただきたいなと思います。教育委員会に対してこういうことを実施しました。先生の研究、指導して数学に力を入れていますというところがすごく大事なんですけど、じゃそれを実施したことによって結果がついてきているかというところももっと引き上げて、大きいテストに限らず、校内でとかもそうなんですけど、こういうことを実施したから結果もついてきたというところをやっぱり、やって終わり、やりました。実施していますというのであれば誰でもできる。やっぱり結果がついてこなければ、先生がどんなに勉強しても、学習教室を開いてくれても、じゃ実際その内容はどうなんだろう。個別に指導してくれているんだろうか。ちょっとついてこれなかった、期末とか中間とか、テストの点数が少し悪かった。じゃ、そこをもう一回復習しよう。そこに力を入れてくれているのかなというのが保護者の目から見ると、そこにもうちょっと力が入っていれば、やっぱりこの平均正答率が、基本的なA問題はもう少し数学が上がってくるのかなと思いますんで、その辺の把握もお願いしたいと思います。 ・ ほかにございますでしょうか。よろしいですか。 ・ 質疑なし ・ では、質疑なしと認めます。 ・ 事務局の方からほかにございますか。いいですか。 ・ じゃ、委員の方から何かございますか。 ・ 発言なし ・ では、次に日程第4、次回の定例会の開催日について、事務局から説明をお願いします。 ・ 9月26日の火曜日、28日の木曜日、このいずれかでお願いしたいと思います。 ・ それでは、28日ということで。28日の木曜日、1時半。もし事前に勉強会とかという計画であれば、1時半からまた始めて、教育委員会の開始の時間を別な時間で、その後にとるという形で調整をさせてもらいたいと思います。 ・ 以上で平成29年第12回佐渡市教育委員会定例会を終わります。お疲れ様でした。 <p style="text-align: right;">午後3時12分終了</p>
---	---